

第4回定例会 議案等審議結果一覧

議案名	議員名	結果			高橋智恵子	岡部弘安	鶴岡喜豊	池沢俊雄	三枝新一	山崎悦功	本吉敏子	星野一成	月岡清孝	柴田孝	古坂勇人
		議決結果	賛成	反対											
認定第1号	令和2年度決算認定について	原案認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案第1号	長柄町議会広報編集特別委員会委員の設置について 提出者 議会議員 三枝新一 同 岡部弘安 同 本吉敏子 同 鶴岡喜豊 同 高橋智恵子	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は裁決に加わらないため「—」で表示

条例の一部改正

議案第1号 長柄町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

健康保険法施行令の一部改正に伴い国保の被保険者またはその扶養者の出産費用を軽減するため支給を行っている出産育児一時金において、分娩に関連し重度の脳性麻痺となった場合に、その児と家族の経済的負担を補償する為の産科医療保障制度が見直しされたことにより条例の改正を行うものです。

契約の締結

議案第2号 契約の締結について(社会資本整備総合交付金町道3033号線道路改良工事)

平成24年度から国土交通省の社会資本整備総合交付金を受けて実施する事業であり、今回の工事契約は、高山十字路から大庭自治会方面に向かう切割部分を中心に約330m区間について整備をするものです。

去る11月25日に指名競争入札を実施したところ、9,482万円で長生郡長柄町立鳥391番地 株式会社 三橋土木 代表取締役 三橋 裕 氏が落札し、仮契約したことから、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は、処分に関する条例」第2条の規定により議会の議決を求めるものです。

補正予算

議案第3号 令和3年度長柄町一般会計補正予算(第7号)

予算現額に6,625万9千円を追加し、補正後の予算総額を51億9,838万8千円とするものです。

主な内容は、ふるさと納税の寄付増額に伴う返礼品の購入や申込フォームの利用、返礼品の配送といった包括的な対応に係るもの、また、福祉センターの雨漏りに伴う屋根改修の設計及び工事の経費などを予算計上するものです。

議案第4号 令和3年度長柄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

予算現額に25万8千円を追加し、補正後の予算総額を9億4,725万8千円とするものです。

主な内容は、高額療養費支給システムの改修とともに、令和2年度分の医療給付費、後期高齢者支援金、介護納付金が確定したことによる保険税負担金を予算計上するものです。

議案第5号 令和3年度長柄町介護保険特別会計補正予算(第3号)

予算現額に4,121万4千円を追加し、補正後の予算総額を8億1,715万7千円とするものです。

主な内容は、令和2年度分の介護サービス費及び高額介護サービス費が確定したことによる保険税負担金などを予算計上するものです。

議案第6号 令和3年度長柄町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)

予算現額に75万円を追加し、補正後の予算総額を7,595万円とするものです。

主な内容は、経年劣化により発生した既設浄化槽本体の修繕費に伴う経費の不足分を予算計上するものです。

決算認定

認定第1号 令和2年度決算認定について

10月14日、15日に開催された決算常任委員会で第3回定例会により付託された「令和2年度決算審査」を行い、総務事業並びに住民教育所管の決算を認定しました。

また、各常任委員会での主な質疑応答は以下のとおりです。

総務事業常任委員会 質疑応答 (本吉委員長、三枝副委員長、古坂委員、山崎委員、柴田委員、岡部委員)	
質疑	ふるさと納税の返礼品生産者へ情報発信をしているか。
答弁	ここ2年は控えていた。生産者がふるさと納税に関わり続けられるよう制度設計について調査中である。
質疑	ラッピングバスの契約年数について伺う。
答弁	単年契約としているが、5年程度は継続したい。
質疑	まちづくり団体促進事業の進行状況について伺う。
答弁	任意団体の基礎となる取組みを実施した。
質疑	防災行政無線の中継局子局等の設置借上げは何か所あるか伺う。
答弁	中継局は1か所、子局が26か所あり、27名の方に借上料を支払っている。
質疑	公用車のドライブレコーダーの設置率を伺う。
答弁	公用車32台のうち27台に設置しており、設置率は約84%である。
質疑	固定資産税と軽自動車税の滞納繰越分について、収納率が上がっている理由を伺う。
答弁	分母が変わったほか、軽自動車税を主眼に取り組んだこと、固定資産税は大口の方に納付いただいたことが収納率アップに繋がった。
質疑	地番現況図更新業務の内容を伺う
答弁	固定資産の情報を地図上に落とす作業を行っている。
質疑	イノシシの捕獲頭数に差異があるのはなぜか。
答弁	捕獲した際の写真の撮り方により、国県の査定を通らなかったものが減となっている。
質疑	都市農村交流センターの指定管理者の選定方法について伺う。
答弁	5年毎の入札である。プロポーザル形式で書類審査とプレゼンテーションで選定している。
質疑	グリーンツーリズムのじゃがいも収穫体験の参加人数と属性を伺う。
答弁	参加者25名のうち1名が町内在住の方である。

質疑	味庄団地の浴室改修工事について、ユニットバスの工事監理業務は必要か伺う。
答弁	建設環境課に建築専門職がおらず、施工における出来高精算等の監理に対応できないため建築専門家に監理させた。
質疑	町道1222号線(力丸)の残りの工事はいつ行われるか伺う。
答弁	入札が終わり、業者と契約したところである。自治会長と打合せを行い取りかかる。

住民教育常任委員会 質疑応答 (星野委員長、池沢副委員長、月岡委員、鶴岡委員、高橋委員)

質疑	今年度に入り、八街市で発生した児童の交通事故を受けて調査した、通学路の危険箇所数を伺う。
答弁	29箇所と県へ報告した。危険箇所の改善に努める。
質疑	検定料補助金は英語検定、漢字検定等の補助金と認識しているが、他にスポーツや音楽教室についてはどのように考えているか伺う。
答弁	現在、そのような補助金は実施していないが、今後の状況をみて検討したい。
質疑	新公民館土質調査業務の目的について伺う。
答弁	ボーリング1箇所とサウンディング10箇所の調査は基礎杭の支持層までの長さを決定するための調査である。
質疑	新型コロナウイルス感染症の影響で史跡長柄横穴群資料館の来館者数の推移、変化について伺う。
答弁	平成30年度1,842人、令和2年度1,370人である。
質疑	こども園費の園バス運行業務の委託内容について伺う。
答弁	朝の来園時の迎いの1便、午後の1号幼稚園部門の帰宅の1便、夕方の2号保育所部門短時間児の帰宅の1便の計3便である。送迎車両の運行、日常点検整備、清掃、運行計画の企画立案、その他運行管理に関する事項等が業務内容である。
質疑	地方創生臨時交付金のうち、医療施設等従事者給付金の3施設、559名の内訳を伺う。
答弁	リソルクリニック14名、聖光会病院224名、塩田記念病院305名の計543名、その他16名は途中で離職した方で、合計559名である。

議員発議

発議案第1号 長柄町議会広報編集特別委員会の設置について

本委員会は、令和元年第4回定例会で特別委員会として承認され、令和3年7月31日まで活動を継続しておりましたが、期限を経過した現在は任意の組織となっております。

今後も特別委員会として議会広報の編集等に携わり、議会活動を周知することにより議会に対する認識を深めていただくとともに、町政への関心と長柄町の発展に寄与したいことから提出するものです。



長生郡市広域市町村圏組合議会議員の報告

定例会の冒頭に、長生郡市広域市町村圏組合議会議員の鶴岡喜豊議員から令和3年第3回長生郡市広域市町村圏組合議会定例会の報告がありました。以下、要約したものを掲載します。

令和3年第3回長生郡市広域市町村圏組合議会定例会は11月25日に開会し、提出議案は、報告1件、議案1件を審議し、同日閉会しました。

報告第1号 専決処分の報告について

地方自治法第180条第1項の規定により、議会の議決により指定された1件100万円以下の損害賠償額の決定及び和解について専決処分をしたので、同条第2項の規定によりこれを報告するものです。

内容は令和3年8月24日、長柄町上野181番地先の路上において本組合の救助工作車の左後輪が脱輪、スタックし、町道及び路肩を崩落させたものです。損害賠償の額は29万2,600円で長柄町と和解しました。

議案第1号 令和3年度長生郡市広域市町村圏組合一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ61万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を65億6,100万7千円とするものです。

内訳は、歳入は分担金及び負担金342万7千円の増額、県補助金84万5千円の減額、組合債320万円を減額し、トータル61万8千円の減額となります。歳出は、介護認定費402万5千円の増額、障害支援区分認定費に217万7千円の増額、消防費を682万円減額し、トータル61万8千円の減額となります。

一般質問は16ページから19ページに掲載しています。

第3回 臨時会

令和3年長柄町議会第3回臨時会は、11月30日の1日を会期として開催されました。提出された案件は、承認2件、議案4件で原案のとおり可決されました。

第3回臨時会 議案等審議結果一覧

議案名	議員名	結果			高橋智恵子	岡部弘安	鶴岡喜豊	池沢俊雄	三枝新一	山崎悦功	本吉敏子	星野一成	月岡清孝	柴田孝	古坂勇人
		議決結果	賛成	反対											
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度長柄町一般会計補正予算(第4号))	原案承認	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度長柄町一般会計補正予算(第5号))	原案承認	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	長柄町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	令和3年度長柄町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は裁決に加わらないため「—」で表示

専決処分

承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度長柄町一般会計補正予算(第4号))

予算現額に2,797万8千円を追加し、補正後の予算総額を50億6,354万6千円とするものです。

主な内容は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、地方創生臨時交付金を活用して、パーテーションをはじめとする備品購入や事業者の継続を支援する給付金、小中学校のGIGAスクール構想に伴うタッチペンや充電器などの付属品を購入する経費等について予算計上したものです。

承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度長柄町一般会計補正予算(第5号))

補正後の予算総額を50億9,542万4千円とするものです。内容は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するため、従事する職員の人件費やコールセンターの運営委託費、医療機関への負担金、事務用品の整備といった経費について予算計上したものです。

条例の一部改正

議案第1号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号 長柄町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告並びに千葉県人事委員会の給与に関する勧告による職員の給与改定に準じ改正を行うもので、期末手当の支給率を0.15月分、引き下げるものです。

本年度分は、12月支給分で0.15月分を1回で、令和4年度からは6月支給分、12月支給分をそれぞれ0.075月で、あわせて0.15月分引き下げるものです。

議案第3号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告並びに千葉県人事委員会の給与に関する勧告を受け、期末手当の支給率を一般職員は0.15月分引き下げ、2.4月分とし、再任用職員は0.1月分引き下げ、1.35月分とするものです。

補正予算

議案第4号 令和3年度長柄町一般会計補正予算(第6号)

予算現額に3,670万5千円を追加し、補正後の予算総額を51億3,212万9千円とするものです。主な内容は新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯に対し臨時かつ特別な給付措置を行うための経費を予算計上するものです。

新型コロナウイルス感染症予防のため傍聴席は制限させていただきますのでご理解ご協力をお願いします。

(次回定例会は3月1日(火)からの予定です。)

議会本会議の会議録を長柄町ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

町民の皆様方のご意見、ご要望等ありましたら議会事務局までご連絡いただければ幸いです。

問い合わせ先 議会事務局 ☎ 35-2438

一般質問

—議員4名が町政を問う—

三枝 新一 議員（一問一答方式）

1. 農業問題について

問 議員

農業耕作者の高齢化、後継者不足に伴い離職農家は年々増加している。そこで4点伺う。

- ① 高齢化及び後継者不足について
- ② 不耕作地の今後の方針及び方向性について
- ③ 稲作従事者、特に小規模農家の支援策について
- ④ 今年の供出米価の下落に対しての考えについて

答 町長

① 農業振興と人口減少・高齢化の対応等、施策を総合的に取り組みたい。
② 町及び農業委員会としては、認定農業者、営農組合な

どの意欲ある農業者へ農地のマッチング、町耕作放棄地解消対策事業、農地利用の最適化を目的とする農地中間管理事業の活用により、農地利用集積を促進し、耕作放棄地の発生抑制に努めたい。
③ 意欲ある地域や多面的機能支払制度や中山間直接支払制度を活用している地域に積極的に入り支援したい。
④ 米価安定のため、国は米の生産調整に伴う他作物への作付転換を推奨している。
主食用米から飼料米等の転作に取り組んだ農業者に対する県の支援事業に町独自の上乘せを行うことで、転作への拡大支援を引き続き取り組みたい。

問 議員

政府が、来年度から農村RMOという育成事業をやるうとしてるといふ記事を見た。現在どのような構想があるか伺う。

答 産業振興課長

地域コミュニティの維持ということでは、非常に大きな事業だと思ふ。農業振興以外のサービスもあるため、各種連携して勉強したい。

問 議員

小規模農家に対する機械等の補助について伺う。

答 産業振興課長

現在は無い。今後小規模農家が集まる集落営農で機械のリース等で作業時間の効率化を図りたい。

2. 通学路の安全対策について

問 議員

八街市の事故に伴い、本県の県教育委員会は県内53市町村（千葉市を除く）の緊急点検の結果をまとめた報道があった。

そこで4点伺う。

- ① 県教育委員会に報告した調査結果について
- ② 八街市の事故と同等、または類似している箇所数とその対策について
- ③ 児童に行った指導について
- ④ 見守り活動や道路整備などの対策案について

答 町長

① 点検実施箇所は29か所であり、このうち警察が事業主体となるものが3、長生土木事務所が15、町が8、残りは教育委員会が看板等の設置で対応する。
② 歩道の整備の要望箇所として捉えた場合は6か所になる。既に注意喚起の看板の設置が済んだ箇所もあるが、引き続き安全対策を講じていく。
③ 各学校で、全校集会等で注意喚起を行った。また、小学校では、登校班ごとに合同点検時に撮影した写真を用いて、危険箇所を再度確認している。
④ 11月19日、県教育庁、県土

問 議員

大加場自治会の通学路はとても狭い。グリーンベルトを作っていただけませんか。

答 教育長

通学路安全点検プログラムを優先した上で学校、関係機関と連携し子どもたちを守っていく。

農村RMOとは

複数の集落の機能を補完して、地域資源（農地・水路等）の保全・活用や農業振興と併せて、買い物・子育て支援等のコミュニティの維持に資する取組みを行う事業体のこと

整備部、県警本部の連名により、小学校の通学路の緊急一斉点検後の対策についての報道発表があった。それに教育委員会・学校、道路管理者、警察がなすべき主な対策が示されている。
改善した内容は、ホームページ等で公開する。

本吉 敏子 議員 (一問一答方式)

1. 住民サービスについて

問 議員

回覧(配布文書)をホームページに掲載できるものは掲載することを提案するが見解を伺う。

答 町長

本年6月から自治体等の配布物をホームページで閲覧できるようにしている。

問 議員

過去のものも見られるようにできないか伺う。

答 総務課長

内部で検討したい。

問 議員

できればホームページの新着情報に掲載いただきたい。

答 総務課長

前向きに検討したい。

2. 地域おこし協力隊について

問 議員

地域おこし協力隊は、以前も質問したが、その時点では公募の条件が合わなかった。今回、条件が変わり長柄町も地域おこし協力隊に該当する条件に入った。本町でも取り組むことができないか考えを伺う。

答 町長

来年度からの実施を計画しており、現在策定中の来年度予算に既に計上している。

問 議員

募集人員は何名を想定しているか伺う。

答 企画財政課長

初めての取組みのため1名で考えている。

問 議員

協力隊に対して考えているサポートがあるか伺う。

答 企画財政課長

住まいは、特定していないが、空き家物件の中であてたいと考えている。各種研修や他の地域おこし協力隊との交流等も取り入れて、孤立しないように配慮したい。

3. 地域福祉の充実に ついて

問 議員

今後、いろいろな支援を必要とする人の増加に伴い福祉ニーズも多様化していく中、地域で支え合う仕組みづくりが求められている。また、福祉センターを福祉サービスの提供や町民の交流の中心として活用を図るとともに、高齢者や障害者が地域で安心して生活できるよう、地域の支援体制づくりを進める福祉社会が必要であると思う。そこで5点伺う。

①町民が支え合うことの必要性と福祉への理解を深めるため、どのような対策を考えているか。

②社会福祉協議会を中心とした民間福祉団体や地域ボランティアとの連携を強化し、組織や人材の拡充についてどのように考えているか。

③地域で安心して暮らせるボランティアの育成、活動の支援を考えているか。

④福祉センターの効果的な福祉サービス提供、活用できるように図っていくと考えているか。

⑤社会福祉協議会で実施する高齢者支援の活動を行った町民に対しポイントを付与し、累計ポイントに応じたサービスを受ける制度を提案するが、考えを伺う。

答 町長

①本町は一昨年、大きな災害に見舞われ、共助が重要であることを再認識したかと思う。この経験を風化させることなく、啓発していくことが福祉への理解に重要であると考えている。

②③ボランティアの皆様の高齢化に伴い、人員の減少が問

題となっていることも承知している。

一方で、町では生活支援ボランティア養成講座を開講し、身近なボランティアとして、ちょっとしたお手伝いをしていただけるよう組織化を図ってきた。いずれにしても、社会福祉協議会と連携し対策を講じていきたい。

④引き続き、高齢者の健康増進及び生きがいづくり並びに町民の福祉活動の拠点として、その資源と人員を活用し、各種活動の充実を図る。

⑤現在、町は健康ポイント事業として各教室への参加及びウォーキングに対しポイントを付与しつつ、健康増進、認知予防に取り組んでいる。ご提案のように、制度創設が高齢者支援のモチベーションとなるようであれば、今後の研究課題として取り組んでいきたい。



鶴岡 喜豊 議員（一問一答方式）

1. 町で実施している各種相談について

問 議員

町では結婚相談や心配ごと相談などの相談を行っているが、それぞれの実績を伺う。

答 町長

結婚相談については6件、心配ごと相談も6件の相談があった。

問 議員

土地の相続、人のトラブルなど、住民の困っていることの解決のために法律相談は必要だと考えるが、執行部の考えを伺う。

答 総務課長

基本的には、各弁護士事務所に相談に行くということなると思うが、所得の低い方等のために千葉県の無料法律相談がある。また、法テラスという無料で相談に乗ってくれる日本司法支援センターというところもある。

2. 高齢者の生活支援について

問 議員

現在、独居の高齢者の状況と今後の推移をどのように考えているか伺う。

答 町長

町内の独居高齢者は578名、今後も高齢化が進展し、団塊ジュニア世代が80歳を迎える2055年頃までは増加するものと思われる。

問 議員

増加するに当たり、行政としてどのように考えているか伺う。

答 健康福祉課長

現在、地域包括支援センターが行っている事業が民間の事業所と協力した安否確認、また、民生委員と定例会に参加して情報交換、これらをさらに充実させ情報収集に努めたい。その上で、各種サービスがあるので、そのサービズに適切に当てはめることが独居の方々に対しての日頃の不安の解消になるのではと思う。

問 議員

高齢者から、足がないとか、昔と違って寂しいなどの声を聞く。町では、独居の高齢者との日常のコミュニケーションをどのように取っているのか、また、民生委員が独居の高齢者にどのような援助を行っているのか伺う。

答 町長

町では、地域包括支援センターが中心となり、高齢者の方々の社会参加を支援している。各種教室や訪問活動、電話での安否確認などが主な活

動内容である。

また、民生委員は友愛訪問と称し安否確認を行っている。

また、必要に応じ各種手続の支援を行っていただいている。

問 議員

独居高齢者の家庭に緊急通報システムの設置がされていると思うが、コロナ禍の中で、外出自粛で過去の活用と比較して利用状況はどうだったか伺う。

答 町長

現在の設置数は51件である。また、新型コロナウイルス感染症を起因とする申請件数の増加や利用状況の変化、問合せの増加はなかったと認識している。

3. 敬老祝い品について

問 議員

本年度は米寿以上の高齢者にケトルを配付したが、対象者は何人であったか、また今

までにどのような品物を贈ってきたか伺う。

答 町長

令和3年度は88歳以上となる方が56名、99歳以上となる方が19名いた。この19名のうち、在宅で過ごしている方10名に対しケトルを贈呈した。また、過去のお祝い品では、毛布類が主であったが、近年はスティック型掃除機や箸と茶わんのセットなどを贈った。

問 議員

お祝いの品物は、人により受け取り方が違い、難しい。お金や商品券にできないか伺う。

答 健康福祉課長

参考にさせていただく。



池沢 俊雄 議員（一問一答方式）

1. 長柄町の基幹産業である水稲農業の継続について

問 議員

米価下落に対する稲作農家に対する支援を行う考えがあるか。

答 町長

飼料用米等拡大支援事業補助金の町単独分を増額し、転作への拡大支援を引き続き取り組む。

問 議員

今年産の米価下落に対する補助をする考えがあるか。

答 産業振興課長

町単独の補助金は、現時点では考えていない。

問 議員

水田等の荒廃農地の有効な活用について、方策を考えているか。

答 町長

意欲ある担い手に対し、農業等振興事業補助金制度を

2. 法定外公共物の箇所の把握及びその対応について

問 議員

活用していただき、農業の持続性、優良農地の確保を図ってきた。引き続き支援したい。

問 議員

町独自の稲作農家に対する援助がなければ、離農者の増加は止められないと考えるが見解を伺う。

答 町長

再生可能な農地には、認定農業者、営農組合など意欲ある農業者への農地のマッチング、農地中間管理事業の活用により、農地利用集積の促進を図り、併せて有害鳥獣被害防止対策事業を活用し、荒廃農地の再活用と耕作放棄地の抑制に努める。

問 議員

荒廃農地の有効活用として、太陽光発電を検討する考えがあるか。

答 町長

再生可能な農地は、有効活用方法を模索したい。

3. 町道1100号線の通行環境整備について

問 議員

法定外公共物（以下、赤道等）が私有地内に含まれる場所が何か所あるか、また、その対応策を伺う。

答 町長

箇所数は整理していないが、私有地と一体化されている赤道等は、申請により、個人への払下げや付け替えを行った事例がある。

問 議員

赤道等が神社等の通路内に存在するものが何か所あるか。また、その対応を伺う。

答 町長

箇所数は整理していないが、維持管理は、道路愛護などの際に資材などを支給し、自治会や土地の関係者にお願いしている。

問 議員

地籍調査により位置が特定された赤道等は、位置関係などの問題が発生した場合に、関係者と解決に向けて努力したい。

4. 町財政運営について

問 議員

今年度のガラナ製造の総事業費と、現時点の販売本数と販売総額を伺う。

答 町長

製造にかかる費用は税込み1本当たり63円で4万5,840本、合計288万7,920円である。また、PR等の販売諸経費を含めると1本当たり99円である。12月1日現在の販売本数は1万6,110本、販売金額は101万4,930円である。

問 議員

1本当たり36円の赤字となるが町のPRとしての評価方法はどのように考えているか。

答 企画財政課長

赤字部分は観光パンフレット等と同様に町が投資する費用と考えている。知名度向上の効果は来年以降に調査をしていく。

問 議員

町社会福祉協議会への町補助金として3,284万2,000円が支出されているが、年度末資金残高が3,099万7,000円であり、補助金の在り方として妥当か見解を伺う。

答 町長

令和2年度の年度末資金残高3,093万7,000円は、社会福祉協議会が行う事業運営と、在宅福祉事業及びシルバー人材センター事業の令和3年度の年度当初の分、人件費及び事業資金として必要があるものと認識している。